

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースは、十分であると思われるが、更に個々に対応できるような部屋も確保できるとより良い。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人数の増える長期休暇には、対応して職員数を増やしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	トイレの戸の開閉、手洗い場の電気等少しずつ見直してはいるが、まだまだ改善の余地あり。(国東)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			子どもの変化に対応できるように常に見直しを行なっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けにアンケートを実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価を集計し、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修の場を設けたり、研修に参加できるように勤務体制を整えている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎週水曜日にレクリエーションやSST、リトミック等の活動を取り入れている。固定化しないように、職員間で話し合い、様々な活動を提供できるように努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を基本とし、子どもの状況に応じて個別の活動も取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の計画について必ず打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎がある為、その日の振り返りは難しく次の日に行なっている。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		他の職員にも話を聞きながら、正しく記録を取り、支援の改善につなげている。
----	--	---	--	--------------------------------------

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングの実施を行なっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		複数とまでは行かないが、本人さんにあった支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			電話連絡・連絡帳・学校への送迎時に、情報共有を行なっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			児童発達管理責任者が情報共有を行なっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援を通して、情報共有をおこなっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		相談支援事業所を通して、おこなうこともある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			施設支援を適宜受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			長期休暇には、高校生のボランティアの方との交流をおこなっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者が出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話や送迎時に子どもの様子を伝えたり聞いたりして共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・プログラムは行なっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの悩みや相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的に親子イベントを開催し、保護者への交流の場を設けている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者の意見を大事にしたいと考え、対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年に4回いきいきっ子便りを発行し、保護者への配布とホームページに載せている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				視覚支援を行なっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			秀溪まつりでは、地域の方、保護者の方に呼びかけ盛大に行なっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者には、定期的にお便り等で周知する必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設け、2ヶ月に1回法人内で開催している。 言葉の虐待には気づきにくいので、定期的に職員間で見直す必要がある。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行なっている児はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者へ確認し、対応を行なっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットを作成し、記入を行なっているが、更に職員間で見直す必要がある。